252

試験管内の空気の気圧は温度が一定なので、

$$P_1V_1=P_2V_2$$
 より、
$$P_1=1.01\times 10^5\ Pa\ ,\ \frac{V_1}{V_2}=\frac{0.20}{0.12}$$
 を代入して、
$$1.01\times 10^5\cdot V_1=P_2\cdot 0.60V_1$$
 $\therefore P_2=1.683\times 10^5\ Pa$

よって試験管内の水面の圧力は $1.683 \times 10^5 Pa$ である。 試験管内の水面までの深さをhとすると、

$$P = P_0 + \rho g h$$
 LU,
$$P = 1.683 \times 10^5 \ Pa \ , \ P_0 = 1.01 \times 10^5$$

$$\rho = 10^3 \ ^{kg}/_{m^3} \ , \ g = 9.8 \ ^{m}/_{S^2}$$

を代入して、 $1.683 \times 10^5 = 1.01 \times 10^5 + 10^3 \cdot 9.8 \cdot h$ $\therefore h = 6.87m$

なので菅口までの深さは、6.87 + 0.08 = 6.95m である。